

伊豆八十八札所巡礼報告書

写真・文 後藤

と き 2019. 07. 10 (水) 晴・風あり・湿度低

ところ 52番・曹洞院前発8:26-53番・宝徳院9:00~20-ハマボウ(大賀茂川堤防)
-基石が浜-サンドスキー場-竜宮窟-54番・長谷寺(ちょうこくじ)10:30~
11:57(昼食)-南伊豆歩道・タライ岬12:48-光背岩13:11-弓ヶ浜13:
40-55番・修福寺14:09~15-青野川地先14:25-三島

参加者=20名 距離=約15km 歩数=約2万1千

前月最終の曹洞院前から出発。天気は良かった。風があり湿度が低く快適だった。

坂を下り田園地帯を歩く。大賀茂川沿いに行く。橋を渡れば、53番・宝徳寺着。大きくないがキレイな寺。背後の山に三十三観音がある。寺には御詠歌を詠う年配のご婦人方がいた。我々のお勤めが邪魔かと思ったが「9:30開始だから、先に済ませて下さい」という。「何処からですか」の問いに「長泉から」と答えると「ああ、がんセンター」と返した。



宝徳院

三十三観音

お勤め後、何人か三十三観音を見学に行った。寺の本尊は不動明王だが、観音様も祭ってある。約15分掛かった。寺を出ると路傍に「車に乗ったお地蔵様」がある。この手のものは他にない。ちょっと「マニ車」みたい感じだ。

大賀茂川堤防を進む。堤防には「ハマボウ」の大きな木が沢山茂っている。「ハマボウ」は、ぼちぼち開花。ただ、6月26日のウオーク時は一つも咲いていなかった。皆さん期待だった。対岸に何となく黄色いものが見える。花か枯れ葉か???!!しかし、咲いていた!!数はまだ少ないが、確かに美しい「クリーム色のハマボウ」だった。一同、感激・感動・感心。



ハマボウの花



碁石が浜



竜宮窟

堤防を抜けると碁石が浜。サーファー・海水浴客が遊んでいた。県外 NO が多い。ビキニ姿の美女が闊歩していて男性は注目だった。浜は風が強く砂が飛んでいた。「ハマユウ」が咲く、海岸道をサンド・スキー場・竜宮窟に向かう。竜宮窟の浜は「立ち入り禁止」にも関わらず、外人が遊んでいた。駐車係のオジサンに伝えると「私は駐車場係だから」とニベもない。

昼食を持って54番・長谷寺着。ここも大きな寺ではない。が、本尊の阿弥陀如来は以前、国宝だった。現在は国の重文。平安時代に浜に打ち上げられたと伝わる。金ぴかの派手な仏像ではない。檜の木目の素朴な仏像だが、むしろそれが美しかった。



長谷寺の阿弥陀如来像

お勤め後、本堂・境内で昼食。食事後は午睡。渡る風が気持ちよかった。ご本尊に足を向けている方がいたのでイエローカード。午後は南伊豆歩道に入る。春にトンネルの入り口で業者と揉めた。素掘りのトンネルがコンクリで固められ面白くなくなった。貴重な遺産なのに。

タライ岬に立った。「何故、タライなのか」と皆さんが五月蠅い。ま、タライのように、「海が洋々としている」のだろう。確かに水平線が「丸く」見える。皆さんに喜んで貰って良かった。

歩道に出て下れば再び浜に出る。海にシーカヤックが三隻浮かんでいた。二隻には、犬も乗っていた。波は穏やかなので快適そう。皆でエールを送った。

ここで、松永さんから提案。「今日は潮がかなり引いているので、近くの柱状節理の【光背】に行ける」という。では、行きましょうで半数の方が向かった。



モデル・渡辺さん

渡辺如来

これは良かった。素晴らしかった。タライ岬は何回も来ているとあって、三名バスに乗ったが、これは残念無念。旅は常に新しい発見がある。悔いが残りますね～！！

弓が浜には男子のみの高校生が多数、海水浴だった。皆、パンツは青だが、キャップの色が違う。泳ぐ力の違いで分けてあるといった。

55番・修福寺に上る。ここも大きな寺ではない。別棟の経蔵に国重文の「539巻の紙本墨書大般若経」があるという。一文字一文字、手書きといわれるが、一度、拝観したいものである。寺を辞して青野川沿いを歩く。本日はこれにて終了。見どころが多くて道草続きだったが、それなりに楽しく、学習にもなった。次回がまた、楽しみです。

なお、この日、杉山 緑さんが4年余りで結願、森下さんが初参加しました。お疲れさまでした。

合掌 (了)



西川如来

モデル・西川さん



下田市・田牛 長谷寺